

岩手県立宮古北高等学校 平成29年度第1回学校評議員会

平成29年7月20日（木）本校大会議室で実施

学校評議員名簿（出席者）

氏名	所属（役職）
なか や ゆたか 中 屋 豊	宮古市立田老第一中学校 校長
た むら すが こ 田 村 清 子	前 PTA 会長
はし かみ かず し 橋 上 和 司	三陸鉄道株式会社 宮古駅長
さ さ き ひで ゆき 佐々木 英 之	田老町漁業協同組合 JF たろう加工場長代理

（本校職員の出席者）

熊谷 和 浩（校長） 嶋 隆（副校長） 富手 明 美（事務長）
 武藤 秀 郷（校務渉外課長） 舞田 寛 武（校務渉外課総務主任）
 植木 淳（学習指導課教務主任） 兵藤 一 仁（進路指導主事）
 勝又 靖（生徒指導主事） 山崎 満寿美（保健主事）

（目的）

本年度の学校概況及び学校運営方針と、運営方針に基づいた各分掌の教育指導計画等を明示しながら、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する学校活性化のための方策について意見を集め、本校教育の充実発展に寄与することを目的とする。

（学校概況説明）

学習指導…観点別評価の実施、年間学習指導計画表の作成と活用を通して、生徒が授業を受けやすくする環境作り、学力向上につなげていきたい。

進路指導…単に受験に合格するだけでなく、自分自身の将来をデザインできるように指導していきたい。

教育相談…多種多様な生徒が入学してくる。面談やアンケートを通して一人ひとりの変化をとらえるよう心がけている。外部機関とも連携をとっていきたい。

生徒指導…毎月のあいさつ運動や整容点検でマナー指導を行っている。生徒主体の行事運営を通して一人ひとりの活躍の場面作り、地域への貢献につなげていきたい。

校務渉外…避難訓練の内容を工夫し、より実践的な訓練になるよう努めている。みやきた新聞の発行やホームページの更新を通して本校を広くアピールしていきたい。

(質疑応答)

■進路指導

生徒の進路希望について、進学、就職、どのくらいの割合か。

→進学と就職が半分ずつである。就職では、主に、サービス業、介護職、製造業を希望している。

2年生のインターンシップは、どのような場所に行くのか。卒業後の進路先につながることはあるのか。

→必ずしも卒業後の進路先につながるとは限らない。2年生の時点で具体的な希望職種を絞り込めない生徒がいるので、幅広い職種を体験し、卒業後の進路目標設定につなげられれば良いと思う。

■校務渉外

避難訓練の内容を詳しく知りたい。

→年2回実施（火災発生、大地震発生・大津波警報発令）

2回目の訓練では避難所設営も行い、テントを設営したり、校内の備蓄品を実際に出してみたりしている。

(評議員助言)

中学校の卒業生が来校して「高校が楽しい」と言っている。たいへんうれしく思っている。特別支援の視点を通常学級でどのように活かすか、高校での取り組みを中学校でも参考にしたい。

生徒一人ひとりに対応したきめ細かい取り組みがより多くの方に評価され、入学者増につながれば良いと思う。

地域への貢献のためにも、夏・冬だけでなく春休みもアルバイトを許可していただきたい。

三陸鉄道を利用したの全校遠足や卒業後の観光業への就職は地域の基幹産業の振興につながると考える。宮北の生徒はあいさつがよくできるという印象を持っている。地域の支えとなる生徒を育てていてもらいたい。